

# 現代韓国の農業事情から考える 21世紀の日本農業

## 韓国の農業事情を視察して

関 祐二

### ◆訪韓にあたって

「世界の事情によって日本の事情は決まる」

こんな表現が様々な場面で当たるようになってきたと日々強く感じている。

このことを実感している業種としては、まず工業界の人達が挙げられるだろう。

彼らは生産拠点を海外のより賃金の低い場所に移すなど、多くの努力によって海外からの製品の流入と競争し、日本でのシェアを確保してきた。

一方、農業界の場合はどうか。

農業は国の柱だから守るべきだ、食糧の海外依存は良くない、などの主張で脳ミソを硬くしてしまい、海外の情報に疎くなってしまうのは誤りであると考える。

これから益々、経済の国境はなくなる。

輸入農産物が入って来れば来るほど、海外の農業事情にアンテナを抜け、何を日本で作る必要があるのか、どんな栽培法があるのか、どんな販売方法が良いのかを考え、情報の収集に努めなければならないはずである。

ところが韓国や中国の農産物が日本に入つて来るという話しを聞くと、何かそちらの国ではいとも簡単に作っている様に思つてしまつたり、単に人件費が安いからだと

か、農地が広いからだと、日本がそれらの国に負けて当然だという理由探しばかりに思考がいつてしまうのはなぜか。

これには日本の農業者特有の被害妄想が大きく影響しているのではないか。

そんなことより競合品が輸入されたらそのまま工場界の人達が挙げられるだろう。

彼らは生産拠点を海外のより賃金の低い場所に移すなど、多くの努力によって海外からの製品の流入と競争し、日本でのシェアを確保してきた。

一方、農業界の場合はどうか。

農業は国の柱だから守るべきだ、食糧の海外依存は良くない、などの主張で脳ミソを硬くしてしまい、海外の情報に疎くなってしまうのは誤りであると考える。

これから益々、経済の国境はなくなる。

輸入農産物が入つて来れば来るほど、海外の農業事情にアンテナを抜け、何を日本で作る必要があるのか、どんな栽培法があるのか、どんな販売方法が良いのかを考え、情報の収集に努めなければならないはずである。

### ◆農業機械展覧会

のつけからブーンというニンニクの臭いに出迎えられ、活気のあるソウルの街に脚步を運んだ。

筆者は3年前の6月に韓国農業の現場視察をしているが、その時の印象より更において差があると感じた。

次に、ハウスの被覆資材、つまりビニールや遮光ネット、保温材などを見た。

これも日本同様のものが展示されていたが、価格面でどうかということの聞き取りができるず、残念であった。

灌水チューブやフィルター、混入器についても日本と同等であった。

今回の訪韓目的は二つ、一つは農業機械展覧会、もう一つが施設園芸の現状調査である。

まず農業機械展覧会の報告書をさせていた

だく。

この展覧会の会場であるCOEXは、日本で言う幕張メッセのような、実際に広く大きな施設であるが、幕張よりもずっと合理的で雰囲気が良い。

まず、日本に輸入されているもので注目を集めている、園芸関係のバラやプチトマトの育苗用資材を見た。

苗作りのレベルを知ることは、栽培全般のレベルを知ることにつながるからだ。

筆者も日頃こんなことを考えてはいるものの、なかなか海外の現場を見る機会は少なかつた。

しかし、今回韓国の農業事情を視察する機会を得、期待を胸に金浦空港に降り立った。

日本の場合、非常に優れた人もいるが、

べーんとレベルの低い人もおり、この点に

おいて差があると感じた。

次に、ハウスの被覆資材、つまりビニールや遮光ネット、保温材などを見た。

これも日本同様のものが展示されていたが、価格面でどうかということの聞き取りができるず、残念であった。

灌水チューブやフィルター、混入器についても日本と同等であった。

施設園芸で灌水設備が重要なことは何度も述べてきたが、韓国での灌水設備の効果は、低温期の厳しい条件下でその差が明瞭

となる。

また、土壤が花崗岩由来の洪積土（日本で言うと愛知県渥美半島と同様の土）であることから、その瘦せた土への液肥の効果は高く、養液土耕の普及もスピードが早いと予測される。

肥料の展示もいくつもあり、なかなか多品目に渡って流通しているようだった。

有機肥料については、発酵させた家畜糞に何かを混ぜたというようなものが多く、日本同様明確な商品とは言い難いが、売り込みの熱意は日本の10倍位あると感じた。

また、特徴としては液肥が多くの銘柄を占めており、有機液肥についてはリン酸成分を低く抑えていることに注目したい。

これは火山灰土壤が韓国には存在しないことが理由と思われる。

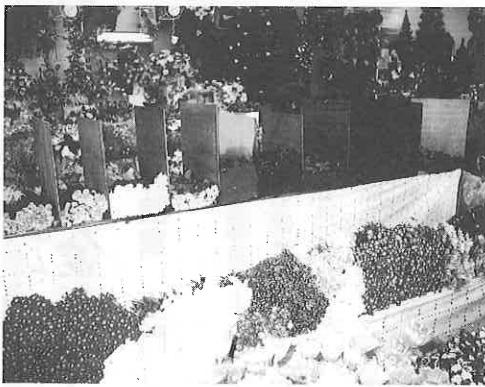
化学肥料は日本にも輸入されている位があるので、銘柄、品質共に日本並み、価格



農業機械展覧会の1コマ



ハウス1棟が日本に比べて高く広い



花卉の出荷場。切り花の赤バラが1本約35円

は3~4割安であった。

園芸用資材のコーナーは日本の場合、華々しい栽培システムが展示されるのは良

いが、それを実際の現場で実施されること

を見ることはなく、「展示会向け」の施設

ではないかと思ってしまうものが多いが、

韓国の場合には着実な商品の展示のみという雰囲気であった。

## ◆施設園芸の現状

農業機械展覧会の翌日、金浦空港周辺の高陽という地区でハウス園芸の現場視察を行った。

まずハウスの建て方であるが、一棟1、500坪位を標準としていた。

日本では100坪位から始まり、450坪位でも大きい方だと感じてしまい、この点で大きな差を感じた。

一棟が日本の様に小さないと、内部の気象

つか見たが、実に得た正当な姿であった。

3年前に点滴灌水を導入した現場をいく

つか見たが、日本で売られている花車では、日本で3,000円位の内容のものが1,000円位で売られていた。

## ◆まとめ

日本も点滴を取り入れていったらこうした栽培環境になるだろうと思つたほど、素直な取り組み方が印象に残っている。

我流に走り、他人の意見を聞かず、その結果良い情報を生かせない日本の農家の姿勢とは対照的であった。

最後に、花卉類の出荷場に足を運び、切り花の現状を見てきた。

韓国の農地面積は水田が90万ha、畑が90万ha位で日本の約1/3、そして花崗岩の作る急峻な山々、つまり瘦せた農地での農業である。

日本では高度成長期に盲目的施肥をして土壤に歪みを生んでしまったが、韓国はどうだろうか。

今回現地のハウス内の土壤のpHとECを測つてみたところ、pHは6~5前後、ECは0~3~0~9 ms/cmで、適正範囲であった。

韓国も中国農業の今後に大きく左右されるだろうが、軍事中心に進んできたことから、統一された國の方針（例えば山の木を切らないというようなこと）が徹底されており、農業においても施肥法や防除法に国としての規制が浸透すれば、日本のように我流で農業公害もOKとはいからなり、きちんとした栽培が永続する農業国になつていくと思われる。

変動が大きくなつてしまい、高温障害、ムレ、病害を引き起こしやすく、当然作業性も悪くなる。

また、屋根型ハウスではなく、パイプ式連棟軟質フィルムが大部分であった。

この高陽では散水タイプの灌水チューブを地上から1~5m位の所にビニール紐で吊したもののが主流となっている。

3年前に点滴灌水を導入した現場をいく

つか見たが、実に得た正当な姿であった。

ソウルの街中で売られている花車では、日本で3,000円位の内容のものが1,000円位で売られていた。

バラは、日本円で1本35円で出荷するとのことであつたが、花卉の外周部に病斑が見られるものもあつた。

これは防除のコツを得れば解決するものであり、まもなく日本並みの品質に達するであろう。



韓國農村經濟研究院 責任研究員  
金 泰坤氏

**土門** 最近、日本政府は韓国

「対日輸出はウルグアイラウンドがきつかけ」（金

キム  
テ  
ボン

インタビュー 農業評論家 土門剛

農業評論家 士門剛

韓国ソウルで農業機械展覽会を開かれた後、韓国農業のシンクタンク韓國農村經濟研究院の責任研究員、金泰坤氏に会ってきました。金によると、農業機械化は農業生産性向上の主な要因であり、韓国では農業機械化率が約80%と高い水準に達しているが、一方で農業労働者の労働時間は依然として多く、効率的な生産を実現するためには機械化のさらなる推進が必要であるとされています。

たこともある韓国農業経済学界の若きエースである。時あたかも韓国が、中国産ニンニクの輸入急増に対しセーフガード（緊急輸入制限措置）を発動するなど隣国・中国

の農産物輸入急増に神経を尖らしている最中。韓国農業の実情や対日農産物輸出の動向について率直に聞いてみた。

**土門** 韓国産の野菜の輸入急増に日本の農家は頭を痛めています。韓国が園芸に力を入れ始めるきっかけは何だったのですか。

**土門**　国の補助が手厚いと農家は堕落しちゃつたということです。

**金**　確かに補助ばかりだと悪い面も出てきますね。韓国内でもそのような指摘がありました。農業者を育成するうえで本当の支援にはならないと思います。

**土門**　国はやめました。対象農家がなくな  
せんか。

**金** 確かに補助ばかりですと悪い面も出できますね。韓国内でもそのような指摘がありました。農業者を育成するうえで本当の支援にはならないと思います。

**土門** 韓国政府は、この7月、中国産ニンニクの輸入急増に対しセーフガードを発動しましたね。国内での反響はどうでしたか  
**金** 韓国にとつてセーフガードは必ずしもプラスでなかつたようです。国全体の経済で考えれば、国産ニンニクは守られました

件は水田が環境保全型農業であるという理由からです。韓国は見ての通り、平坦地が少なく競争が不利ですからね。直接支払いはどうしても必要なんですよ。

金  
ウルグアイ・ラウンド（UR）農業対策の一環でした。コメハウス園芸を奨励するため、ハウス施設には国が50%補助し、

産トマトがEPNを基準量以上に使っていましたとして税関で留め置き検査をしています。韓国内での反響はどうですか。

たことですね。そのため転用規制はとても厳しくしてあります。国費で負担したわけですから、当然のことだと思います。

漏らしています。もちろん輸出国の基準を守ることは大切ですが、必要以上に検疫を強化することは事実上の輸入制限に当たるの

**金** 所得セーブテーキング構策といふこととで、すでに水田農家を対象に、コメを作つた場合、10アール2,500円の直接支

が、中国向け携帯電話など工業製品の輸出が報復対象となり打撃を受けました。セーフガードは農業にとつても経済にとつてもプラスだったのかマイナスだったのか。いまもその評価をめぐつての議論は盛んです  
が、私はマイナスではなかつたかと思つて  
います。

金 す  
中國農業は韓国にとても脅威ですか  
拍車をかけてくることです。もう一つは中  
國の工業化が進んで肉の消費量が増え、そ  
れを海外市場で調達を始めた時、今の穀物  
貿易のバランスが崩れてしまうことです  
ね。韓国農業は日本と良く似た構造ですか

**土門**　日韓両国の農業情勢に精通されてゐる先生が見て、UR農業対策の日韓の差はどこにありますか。

ら。日韓両国は、中国のWTO（世界貿易機関）加盟を契機に農業をめぐる交渉の場を持つことが必要となつてくるかもしけま

10年間で42兆ウォン（約4兆円）のUR

対策費を捻り出しました。国を挙げて経済財政再建に取り組む中で大変な出費でした。